

### 3. 後援会会員の皆様に 会員継続更新のお知らせ

～2014年度（会期：2014年2月1日～2015年1月31日）更新のお願い～

平素より後援会活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

発足以来、565人の皆様にご入会いただき、そのご支援が大きな支えとなりましたことを心より御礼申し上げます。

ベガルタ仙台レディース後援会は、会員一人ひとりがつくりあげる組織です。まだ、**2014年度会員更新をされていない会員の皆様**は、更新の手続きを行なっていただき引き続きご支援くださいますよう、よろしくお願いいたします。

●会員更新手続きは、以下の通りです。

☆ホームゲームの際に、後援会ブースで簡単に更新手続きができます。試合開始15分前まで開設しております。

☆郵便振替での更新手続き方法〔青色で印刷された振込取扱票をご使用ください〕

振込先：ベガルタ仙台レディース後援会 口座記号番号：02270-0-112505

会費：一口 ¥2,000 以上何口でも結構です。この件は、ホームページメールフォームでお問い合わせください。

### 4. ベガルタ仙台レディース後援会入会のご案内

♡♡♡皆さんの入会で選手支援の輪を広げましょう♡♡♡

私たちベガルタ仙台レディース後援会は、ベガルタ仙台レディースを応援し、さまざまな支援活動を通してスポーツ文化振興及び地域、社会の発展に寄与することを目的として設立いたしました。ベガルタ仙台レディース後援会は会員一人ひとりがつくりあげる組織です。チームを宮城を元気にしてくれるチームの活躍に感謝し、ともに応援しましょう。あなたの入会をお待ちしております。

ホームゲーム会場の後援会ブースで受付をしております。

●入会金 3,000円（初回のみ） ●年会費 一口2,000円（何口でも）

●入会特典 後援会オリジナルTシャツ

★入会時は入会金と年会費を併せた金額をお支払ください。（更新は年会費のみ）

★2014年度会期は2015年1月31日までです。

★入会時に会員証をお渡しいたします。



# ベガルタ仙台レディース 後援会通信

NO. 7 (2014.08)

編集・発行/ベガルタ仙台レディース後援会

ベガルタ仙台レディース後援会ホームページ <http://www.vegaltaladies-sa.com/>

## 1. 「アイリスミュージッククラブ」がパフォーマンス!!

本日の試合前、午後1時50分から、メインスタンド前で「アイリスミュージッククラブ」(略称:IMC)のメンバー10人がロックの演奏を披露し、ベガルタの勝利を後押しします。

IMCは、アイリスオーヤマに勤務する音楽好きの集まりです。20代から50代まで幅広いメンバーは呼吸もぴったり。きょうは元気っぱいの3人の女性ボーカリストが中心となって、ZARDの「負けないで」やサザンオールスターズの「希望の轍」など4曲をお届けする予定(雨天の場合は中止)です。ご期待ください。

## 2. 上位リーグ目指す戦い、いよいよ佳境

「レギュラーシリーズ」も残すところ2節。今月末からの「エキサイティングシリーズ」を前に、その上位リーグ入りを目指す争いが佳境を迎えています。

上位リーグに進めるのは6チーム。前節までに浦和、湯郷ベル、日テレ、そして新潟Lの4チームが6位以内を確定し、残された枠は二つとなりました。その座を巡って現在、5位のI神戸(勝ち点26)と6位ベガルタ(同24)、7位ジェフL(同24)の3チームがしのぎを削っています。

ベガルタは最終節でジェフLとの直接対戦を残しています。その試合を優位に迎えるためにも、きょうの浦和戦は是が非でも勝利が欲しいところです。

エキサイティングシリーズの上位リーグは、ホーム&アウェーの2回戦総当たり(全10節)で戦い、その1位が年間優勝となります。

なでしこリーグ順位表 =第16節終了時=

順位	チーム名	勝ち点	試合数	勝ち	分け	負け	得点	失点	得失差	対戦相手	
										17節	18節
①	浦和	34	16	10	4	2	30	10	20	ベガルタ	I神戸※
②	湯郷ベル	33	16	10	3	3	30	24	6	新潟L※	吉備国大
③	日テレ	31	16	9	4	3	30	11	19	吉備国大※	AS埼玉
④	新潟L	29	16	9	2	5	29	17	12	湯郷ベル	伊賀FC※
⑤	I神戸	26	16	8	2	6	32	17	15	AS埼玉※	浦和
⑥	ベガルタ	24	16	7	3	6	23	15	8	浦和※	ジェフL
⑦	ジェフL	24	16	7	3	6	24	22	2	伊賀FC	ベガルタ※
⑧	AS埼玉	13	16	4	1	11	26	44	-18	I神戸	日テレ※
⑨	伊賀FC	12	16	3	3	10	22	28	-6	ジェフL※	新潟L
⑩	吉備国大	1	16	0	1	15	11	69	-58	日テレ	湯郷ベル※

(※はホームゲーム)

特集  
ふだん着の織姫たち..その3

かかず あすか  
嘉数 飛鳥 選手 (25歳)

= (株) アイリスプラザ  
ダイシン幸町店勤務=

●愛犬の名前は「ペコ」●

「嘉数さ〜ん」と呼ばれると、広い店舗の向こうから「ハイッ」と元気な声が返ってきた。シャンプーや台所洗剤といった日用消耗品を中心に担当し、品出し、接客、レジにと動き回る。「初めは品物の名前も分からなくて、お客様に尋ねられても答えられなかったりお待たせしてしまったり。言葉遣いも大変でした」。店頭に出て3年目の今、そんな姿はもうどこにもない。

出身は、遠く沖縄。なかなか帰省できない寂しさをチラリとのぞかせながら、「やっぱり海、それと時間に縛られない感じの空気。あと、仙台もそうですが、みんないい人ばかりです」と、古里のお薦めを語る。帰ったら必ず足を運ぶのが美(ちゅ)ら海水族館。「泳ぐ魚やイルカのショーを見て癒やされる」のだとか。

同郷人にトップチームの赤嶺選手がいる。「めちゃくちゃお世話になっています。レディースのみんなと一緒に、ご飯によく連れて行ってもらうんですよ。お子さんもすごくかわいい。親しみやすくて、お兄ちゃんのように慕っています」とにっこり。

「ペコ」と名付けた雌のカニンヘンダックスをずっと飼っている。「7月で3歳になりました。大きさは20cmくらいで…」と目を細めて愛犬の話をする様子から、普段のかわいがりようが浮かぶ。DVDを見るのも好きで、最近は「ハリーポッター」にはまり、チームメイトと「ハリポタクイズ」を出し合っているという。

●「熱い+温かい」仙台サポ●

昨年5月の練習中、右膝の前十字靭帯断裂という選手生活初の大けがを負った。そこまで3ゴールを決めて絶好調だっただけに、気持ちも落ち込んだ。毎日同じメニューで飽きてしまいそうなりハビリの日々。「一人で黙々と出来るタイプじゃない」自分が

ピッチを離れた選手たちの横顔を紹介する「ふだん着の織姫たち」。今回登場するのは、昨シーズンの

乗り越えられたのは周りの支えがあったから、と感謝を忘れない。

「同じけがを経験した人もいたし、練習が終わってもみんなが付いてくれたりしたので頑張れました」。ほぼ1年後の今季第2節 INAC 神戸戦、83分に交代出場して復帰を果たすと、試合後にスタッフと一緒に涙した光景は、見る者をグッとさせた。その後はプレー時間も少しずつ延長。スタメンに定着すると、7月の吉備国大戦では右足から豪快なミドルシュートをネットに突き刺した。

感謝の気持ちはサポーターにも向けられる。「勝てない時期でもヤジも飛ばさず、落ち込んでいるウチらを鼓舞してくれました。一緒に戦っていることがヒシヒシ伝わってきて本当にありがたい。仙台のサポーターは『熱い+温かい』です」



<応援しています!!>

●ハキハキ、仕事テキパキ●

体育会系のハキハキした人です。仕事もテキパキ。サッカーのセンスと共通するものがあるのかも。初めころは緊張していましたが、体を動かすのは得意なのだから、この仕事が向いているのかなと思います。テレビで試合を見ていると、闘争心が伝わってきますね。(副店長の飯野昌彦さん)

大けがから復帰した嘉数飛鳥選手(背番号14)と、アジアカップの大活躍も記憶に新しい川村優理選手(背番号6)の両MFです。

かわむら ゆうり  
川村 優理 選手 (25歳)

= (株) やまや長命ヶ丘店勤務=

●食べることが大好き●

5月の女子アジアカップ(ベトナム)で5試合中4試合に先発フル出場、日本の初優勝に大きく貢献した。テレビでその勇姿を見たお客様から声を掛けられることも増えたというが、レジに立って対応したり商品の賞味期限をチェックしたりする姿は、そんな“有名人”ぶりを少しも感じさせない。

「仙台はよそに比べて恵まれています。クラブの幹旋でこういう職場で働かせてもらっているの、しっかりやらねばと思います。商品は酒類がメイン。自身はお酒をたしなまないそうだが、「分からないことはすぐ周りの皆さんに聞きますし、困ったりすることはありません」と、はにかむ。

寡黙な第一印象とは裏腹に、「普段、チームのみんなには『うるさい』とか『ふざけてる』と言われるんですよ」と教えてくれた。「おすしや海鮮、焼肉にラーメン…。食べることが大好き。自分で料理したりもするが、一人暮らしは作る量が難しく、苦戦中とか。「私、次の日に持ち越してレンジでチンして食べたりするのが嫌なんです」と明かす。好きなファッションを尋ねると「最近は大人っぽくシンプルに、カッコよくまとめています」。

●体張る姿勢見てほしい●

小学校までは「ただボールを蹴っていただけ」だった。中学1年の時、地元で創立されたアルビレックス新潟レディースに加入。以来、高校、大学と進むにつれ、サッカーのことを深く考えるように。「女子はスピード、パワーはないけれど、足元の技術は優れているし、諦めずに体を張る姿勢は男子に決して負けていません」とPRする。

新潟からジェフ千葉レディースを経て、今季、「一番熱く誘われた」ベガルタへ。決断の理由は、このチームだったら自分をもっと高められると思ったか

心強いゴールを力に変えて

らだ。

実際に移籍して来ての感想を「よそのチーム以上にみんなすごく仲がいい。前から知ってる選手も何人もいて、すぐ溶け込めました」と語る通り、不動のダブルボランチとしてコンビを組む上辻佑実選手とともに、開幕戦からフル出場を続けている。

エキサイティングシリーズの上位リーグ入り争いはいいよ佳境。サポーターから寄せられるコールも一段とボルテージが高まるが、「ウォーミングアップの時からすごい声援で、やんなきゃいけないという責任感が生まれます」と心強く受け止める。それがプレッシャーには? 「全然ありません」。頼もしい一言が、きっぱりと返ってきた。



<応援しています!!>

●笑顔のかわいい女の子●

「テレビに映る人」なんていうのじゃなく、笑顔のかわいい、どこにでもいる普通の女の子です。頑張り屋さんで素直。のみこみが早く、お願いしたことに対してすぐ取り掛かってくれます。サッカーで頑張っているところが仕事にも生かされていると思います。試合でも、持ち前の明るさ、ファイトを出し切ってくれるよう、一ファンとして応援しています。

(職場の先輩の堀越美紀さん)

イラスト: K.Honma